



筑西市マスコットキャラクター  
ちくん

# ふらり、筑西へのいざない。 ちくせい

●茨城県筑西市観光ガイドマップ

# Chikusei Guide Map



# 新しいまち—筑西市。 楽しみ方は十人十色、四季折々…。

平成17年3月、下館市、関城町、明野町、協和町の4市町が合併し、新しいまち筑西市が誕生した。筑波山の裾野に広がる、歴史と文化、豊かな自然のまちは、四季の彩りにその表情をかえながら、数々の魅力で訪れる人を魅了する。

## 歴史の声を聞く



筑西のまちのあちこちには、数々の史跡と歴史の遺産がある。時空を超えて蘇る浪漫が、訪れる人に昔の物語りを聞かせてくれる。

●国指定重要文化財 木造観世音菩薩立像（中館観音寺）

## 文化にふれ化する

古くから県西部地区の商業の中心として栄えた。ハイカラな気風は文化・芸術を育て、今も街のあちこちで当時をしのばせる姿を見ることができる。



●蔵づくりの商家（旧下館市街）

## 花を愛でる

花が咲き、人が集うまち筑西。春の桜にはじまって、秋の終わりまで、四季折々の花にまつわるイベントが開催されている。花の香りにさそわれて、ふらりと出かけてみませんか。



●明野ひまわりの里風景

## 自然を感ずる

紫峰筑波山の裾野に広がる豊かな自然を体験できるまち筑西。自然公園散策や、キャンプ体験など、きっと子供達の心に残る、素晴らしい体験をすることができる。



●宮山ふるさとふれあい公園

## 未来を創る

新しいまち筑西は、いつも明日に向かって歩いている。未来を創る活力の提供の場として数々の施設を広く公開し、市内外からの訪問者を歓迎している。

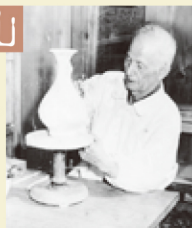


●筑西市立中央図書館

# Art 芸術の息吹きを感じる。

## 板谷波山

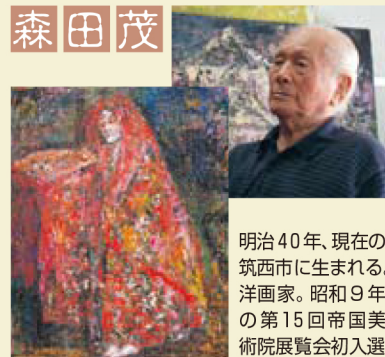
明治5年、現在の筑西市に生まれる。陶芸家。日本の近代陶芸の先駆者として高く評価され、陶芸界から初めての文化勲章を受章。その品格ある美しい作品の一部は、彼の生家と窯を公開している板谷波山記念館やしもだて美術館に展示されている。



●「彩磁菊花図額皿」

## 森田茂

明治40年、現在の筑西市に生まれる。洋画家。昭和9年の第15回帝国美術院展覧会初入選をかきりに数々の賞を受賞し、平成15年には、当市では二人目となる文化勲章を受章。ライフワークとなった黒川能や富士山をモチーフにした、厚く塗られた独特のマチエールが特徴な作品の数々は、しもだて美術館で鑑賞することができる。



●「容姿」

## 大西勲

筑西市在住の重要無形文化財保持者（人間国宝）。漆芸家。櫓を薄く削った曲輪造の素地に漆を施す「きゆう漆」技法で制作される精緻な作品の数々は高く評価され、その一部はしもだて美術館に展示されている。



●「曲輪造黒溜盛器」

## 青木繁

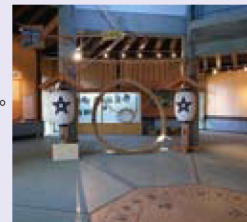
国指定重要文化財「海の幸」「わだつみのいるこの宮」を遺し、28歳で夭折した明治の天才画家。一時期、現在の筑西市内に滞在し、「大穴牟知命」を制作している。



●福田蘭童らによって建てられた青木繁の碑

## 安倍晴明

旧明野町猫島は、平安時代の陰陽師（おんみょうじ）「安倍晴明」出身の地として伝承されている。科学の未発達な平安時代では、陰陽師であり天文博士でもあった晴明の言葉が「お告げ」として、国家の運命を占い、政治や行事の決定に欠かせない存在であった。また、その神秘的な能力は一般庶民にまで普及し、現在も多くの伝説が語り続けられている。



●宮山ふるさとふれあい公園内にある安倍晴明コーナー

## 小栗伝説

応永三十年。今からおよそ五百六十余年前、常陸小栗の第十四代城主、判官小栗満重（判官は当時の官位）は関東公方・足利持氏に攻められ、小栗方は苦戦の末落城。その満重の子、助重は涙を流し城を捨て、主だった家臣十名と共に一族に当たる三河国に逃げのびることになり、その途中、相模国藤沢宿で横山大膳に毒殺を企てられるが、遊女照手姫の舞により命が救われたと伝えられる。常陸の国に始まるこの伝説は、波瀾に満ちた愛の逃避行として、今も小栗判官まつりに再現されている。



●小栗判官まつり 武者行列出陣式



# 祭

## 春

自然を愛で、伝統芸能を伝え、人と人が織りなす物語り。四季折々の筑西風物詩を、観て、集って、参加して楽しんで下さい。



**桜まつり**  
爽やかな風が頬にふれる頃、筑西市のあちこちでは、空が桜色に染まり、花を愛でる人が集う。下館駅南の並木では、桜まつりが開催され、各種催しが行われる。



**明野新能**  
毎年4月、当代一流の能楽師・狂言師が出演して行われる。神秘的な炎のゆらめきに映し出される幽玄な舞は、桜の美しさと相まって、観る人を、しばし別世界へと誘う。

## 夏



**川島地区花火大会**  
真夏の夜空を彩る千発おまりの光のたぎ。川島川河畔で開催される花火大会は、夏の風物詩として、涼を覚える人々に愛されている。



●あけのひまわりフェスティバル  
〈8月下旬～9月上旬〉  
宮山ふるさとふれあい公園

●小栗内外大神宮太々神楽  
〈11月10日直前の日曜日〉  
小栗内外大神宮

●関本神社太々神楽  
〈11月23日 関本神社〉

●しもだて商工まつり  
〈11月下旬〉  
アルテリオ前広場



**小栗内外大神宮太々神楽**  
高い木立に囲まれた小栗内外大神宮に賑やかなお囃子がこだまする。250年の伝統を持つ神楽は、春と秋の2回、小栗内外大神宮の大祭で舞われている。



**みなぎる気道川渡御**  
祇園まつりの最高潮に達するのが最終日(日曜日)早朝の動行川での「川渡御」。大神輿を川に入れ、担ぎ手が胸まで水につかり、水しぶきを上げながら、雄々しく、担ぐ「みそぎ」が行われ、その追かたエネルギーは圧巻。

**下館祇園まつり**  
大町の羽黒神社を中心に、4日間に渡って行われる県内でも屈指の夏まつり。壮大なる神社の神輿は明治28年日清戦争の戦勝祝いに造られた重さ1トンの明治神輿と、相殿神・玉依姫の女子神輿、平成4年に新調された日本一の平成神輿の三基。町内揃いのハッピーで担がれる子供神輿も三十数基。さらに約1トンの大太鼓を載せた、日本有数の彫刻太鼓山車と、祇園囃子が、まつりのリズムを刻んでいく。



**灯ろう流し**  
関東大震災の犠牲者供養に始まった灯ろう流し。真っ黒な川面に、灯ろうの灯が点々と映し出され、静かに流れていく情景は、誰をも詩人にしてしまう。



**下館盆踊り大会**  
戦時中下館に疎開していた西条八十作詞の「下館音頭」、お囃子と花笠で賑やかな「笠抜き踊り」。アルテリオ前の広場では、コンテストも開催され、大やぐらを囲んで、踊りの輪が広がっている。

## 秋



**鮭の遡上**  
筑西市の市街地を流れる動行川は、浅瀬が多く川幅も50mほどとさほど広くはないので、川岸や橋の上から手軽に、遡上する鮭の姿や産卵行動を観察することができる。

## 冬



**小栗判官まつり**  
小栗判官の伝説を再現。馬にまたがった小栗判官が、照手姫をはじめ、侍女、判官十勇士、子供武者などの一行200人あまりを引き連れ、新治駅前通りを練り歩き、華麗な戦国絵巻を思わせる武者行列は遠く中世の時代をしのぼせる。ステージ発表では、小栗太々神楽や知行八木節などの伝統芸能も披露され、祭りを盛り上げていく。同時に商工祭りも開催され、毎年多くの人々で賑わっている。

**どんど焼き**  
小正月、子供達が門松やしめ縄、だるまなどを集め、広場の御神木に積み上げ、あたりが暗くなったころ、これに火をつけ、棒先の餅を焰にかざして焼き食べる。無病息災と豊作を願い、冬の夜空に立ち昇る炎は、人の心も暖めてくれる冬の風物詩となっている。



**商工まつり**  
年間を通して市内4地区にて商工まつりを開催。多くの商工業者の出店や様々な催して会場が盛り上がる。



# 味

大地の恵みと人の手の温もりが実るところ。広大な平野と水に恵まれたつくば野は、新鮮味覚の宝庫です。

**梨**  
筑西市は、国内有数の作付面積を誇る赤梨の大産地。減農薬栽培と厳しい選果、伝統の栽培技術により、その美味しさは格別。梨の銘柄産地にも指定されている。「幸水」「豊水」の人気品種と、大玉の「新高」が主な品種で、夏から秋にかけてが梨のベストシーズンとなる。最近では、「あきづき」「恵水」の生産にも取り組んでいる。



**常陸秋そば**  
夏には白い花が咲き、秋に収穫を迎える常陸秋そば。筑西のそばは、その生産量だけでなく、香り・風味・甘味も良いのが特徴。市内のアグリショップでは、地粉を使ったそばの販売は勿論、ひきたて、打ちたてのそばが味わえる。

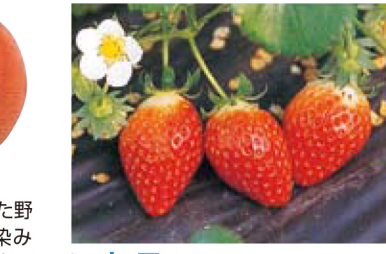


**きゅうり**  
形が良く、みずみずしい歯ごたえ。特に冬から春にかけて採れるものは、銘柄産地の指定を受けており、味と品質は折り紙付き。

**こだますいか**  
冷蔵庫にもすっぽり取まってしまいう小柄なすいか。甘さとシャリシャリ感、他産地のものとは一味違うと大好評。特に協和地区は国内でも有数のこだますいかの産地で、梨の銘柄産地指定を受けている。



**トマト**  
栄養価に優れた野菜としてお馴染みのトマト。地元の「桃太郎」は特に大玉で糖度が高く、美味しいトマトとして高い人気がある。



**いちご**  
11～5月にかけて味わうことができる。たぷりの甘味と爽やかな酸味が魅力で、レモンの約2倍のビタミンCを含んでいる。



関東屈指の米処

筑波山の裾野に広がる平野に数本の二級河川が流れる筑西市は、豊かな大地と豊富な水に恵まれ、県内有数の米どころとして知られている。その生産額は県内1位で、「コシヒカリ」を中心に栽培。特に平成24年に山形県庄内町で開催された「第6回日本一おいしい米コンテスト」では、関城地区の渡辺さんが生産した「ミルキークイーン」が見事最優秀賞を受賞し「日本一おいしいお米」に認定された。米を利用した米菓や、醸造製品、味噌・醤油などが昔ながらの製法を守り、今に受け継がれており、最近のナチュラル志向により、根強い人気を呼んでいる。さらに、市の商業と文化の中心として栄えた下館地区市街地には、文人達に愛された銘菓の老舗も数多く存在している。

## イベントカレンダー

1 Jan

●どんど焼き  
〈1月中旬〉市内各所

●だるま市  
〈1月成の日〉  
下館大町通り

2 Feb

●辻集落火鉢  
〈2月上旬〉辻集落センター

3 Mar

●関本神社太々神楽  
〈3月3日 関本神社〉

●桜まつり  
〈3月下旬～4月上旬〉  
下館駅前とくま通り  
明野公民館

4 Apr

●明野新能  
〈4月上旬〉明野公民館

7 Jul

●湯立祭  
〈4月上旬〉雷神社

●梨の花まつり  
〈4月中旬〉(ペアー)

●小栗内外大神宮太々神楽  
〈4月21日直前の日曜日〉  
小栗内外大神宮

8 Aug

●灯ろう流し  
〈8月第1土曜日〉  
動行川大橋河畔

●川島地区花火大会  
〈8月第1日曜日〉

●鬼怒川河畔新川島橋南側  
下館盆踊り大会  
〈8月15、16日〉  
アルテリオ前広場

●小員川花火大会  
〈8月中旬〉  
小員川河畔成田橋南側

●どすこいペー  
〈8月下旬〉関城支所



# 歴史を訪ねる



**観音院(律院)** 権豪を持たない戒律の厳しい寺院として知られている。本堂は文久2年(1852)の再建で市指定文化財。宝暦元年(1751)管領宮道親王より「観世音」の三字額が下賜された折願寺。境内のしだれ桜は、本堂再建時に植えられたと伝えられており、訪れる人を魅了する。



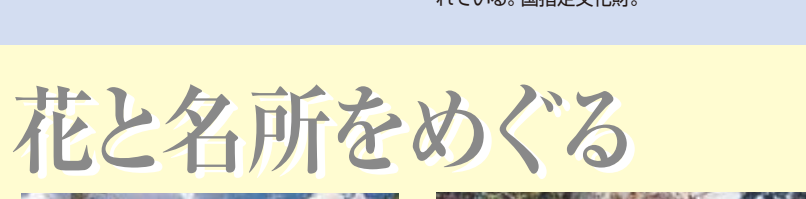
**伊佐城跡** この城は山台伊佐家の祖・伊佐朝宗の先相伊佐実宗が興した所。伊佐行朝が寛元興国の際、南朝方を助けて足利軍と戦い落城。それ以降廃城となった。中継観音寺本堂裏に行朝墓があり、境内には城跡石碑があるが、ここは二の丸跡と言われている。県指定文化財。



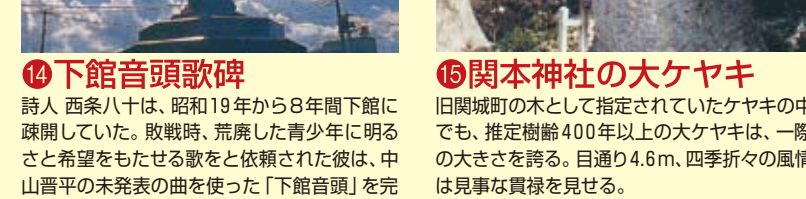
**羽黒神社** 文明10年(1478)水谷徳氏が下館城を築いた後、領内安堵を願って出羽の羽黒大神を勧請、城の鬼門・風門・病門・天門と下館の中心に5つの羽黒神社を創立した。その後、徳能斎が久下田城を築いた際、更に2つが建てられて七羽黒となった。本殿は桃山風建築様式を持つ。



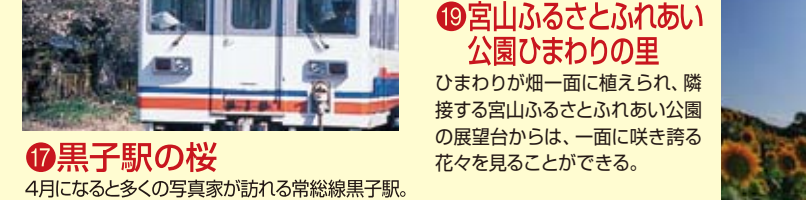
**船玉古墳** 本墳は一辺35m、高さ4mの方墳。参道の石段横に横穴式石室が開口しており、東下で最大級の石室規模石室を有する。周囲に9基ほどの円墳があり、古墳群を形成している。県指定文化財。



**下館音頭歌碑** 詩人 西条八十は、昭和19年から8年間下館に疎開していた。戦時中、高知の青少年に明るさと希望をもたらす歌を詠み続けた彼は、中山重平の未発表の曲を使った「下館音頭」を完成。歌碑を刻んだ碑が高台から市街地を見守っている。



**関本神社の大ケヤキ** 旧関城跡の外として指定されていたケヤキの中でも、推定樹齢100年以上の大ケヤキは、一樹の大きさを誇る。周囲に9基ほどの円墳は見事な景観を見せる。



**黒子駅の桜** 4月になると多くの写真家が訪れる常盤線黒子駅。のどかな風景と、どこか懐かしい駅舎が、桜の見事さと相まって人々に愛されている。



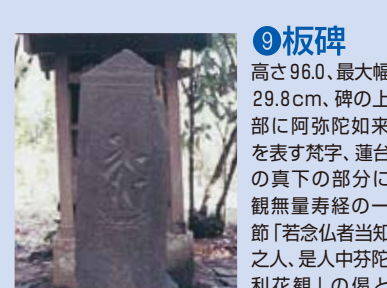
**久下田城跡** 栃木県との県境に位置し、現在城跡公園(二の丸)。空堀、馬場跡などが残っている。天文14年(1545)第6代下館城主水谷徳能斎が築城。下館の支城だった。徳能斎はここを拠点として小栗・小田・北条・海老ヶ島などを攻略したが、8代徳能斎が綱中成羽へ移封後、廃城となった。



**雷神社** 創建寛治元年(1087)、源義家以後三年の役、当地で休憩し一字を建立、凱旋の報告をしたのが始めと言われる。のち水谷徳能斎の折願所となった。本殿・幣殿が市の文化財に指定されている。



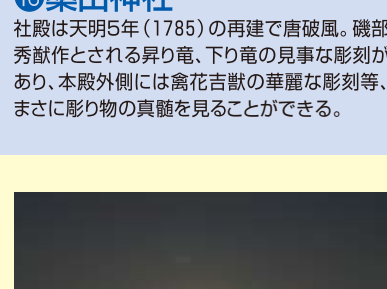
**中継観音寺** 筑波山を望む中継台地にあり、勤行川に沿う一帯は昔に板に丸と風船に雷が、茨城百景に指定されている。本尊は、国の重要文化財に指定されている鎌倉時代の木造観世音菩薩立像。伊佐城跡、狩野探庵の墨絵など、数々の貴重な文化財がある。



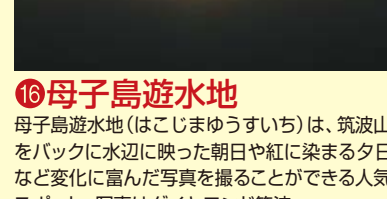
**板碑** 高さ96.0、最大幅29.8cm、碑の上部に阿弥陀如来を表す梵字、蓮台の真下の部分に観無量寿経の一部「観世音菩薩当如之人、是人中分陀利花観」の巻と「観弘安元年戌月」(1278)と紀年銘がある。この巻は「観無量寿経」の末尾に近い一節に原典を求めることができ、板碑の巻の体裁を整える原典で下段から「観」の一語を補っているのは、他に例を見ない珍しい巻とされており、その形状と相まって、板碑の価値を一層高めている。県指定文化財。



**東誓山千妙寺総本堂** 意欲大徳院の創始とされ、当時の「略伝記」によれば、観応2年(1351)に寛守が現在地に開山したことに始まる。現在では、度々なる火災等の影響で、当時の面影はわずかであるが、盛時に天台宗三昧流の開創の拠点として栄え、寺や仏像も数多く残されている。



**関城跡** 南北朝時代といわれる1340年代、朝廷は南朝と北朝とにわかれ、対立抗争し、その時代、南朝方の拠点となり、激戦のすえ落城したが、この関城。城主であった関宗祐父子の墓と伝えられる室(ほまよう)印塔、「関城之碑」も建てられている。国指定文化財。



**青木繁碑** 一時市内の川原に在住し、地元の人々をモデルにした「大穴年知命」を制作した明治の画家、青木繁の碑。



**宮山ふるさとふれあい公園ひまわりりの里** ひまわりが一面に植えられ、隣接する宮山ふるさとふれあい公園の展望台からは、一面に咲き誇る花々を見ることが出来る。

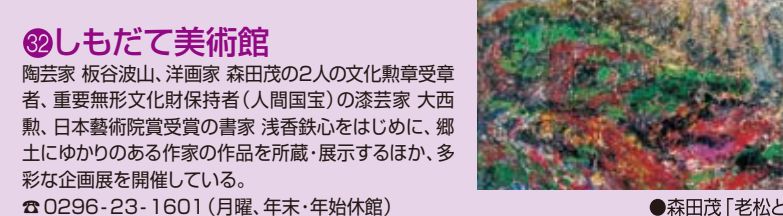
**真岡鐵道SL** 休日や観光シーズンに、下館駅から栃木県の益子方面へと運行され、SLファンのみならず、益子房観光の乗客に好評。汽笛を鳴らし走りまわると、ゆっぴりとした旅を満喫できる。☎0285-84-2911

**勤行川に鮭の産卵を見に来ませんか?** 10月下旬~11月下旬 鮭が産卵のために、勤行川(吾川川)に上るようになりました。これは、勤行川の河川環境が改善され、水質が良くなったから、市街地の様々な場所でのような鮭を見られるのは、非常に珍しい事です。

## 美術と学びの拠点



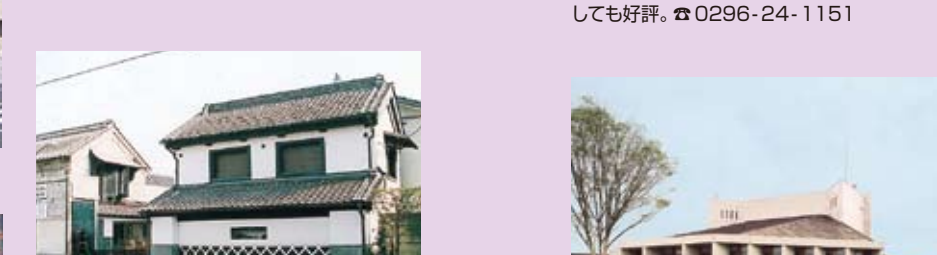
**しもだて地域交流センター「アルテリオ」** 一階の郷土芸能コーナーには日本一のお神輿や山車などを展示。多目的に活用できる教室や美術館などで構成されている。☎0296-23-1616(月曜、年末・年始休館)



**しもだて美術館** 陶芸家 板谷波山、洋画家 森田茂の2人の文化勲章受章者、重要無形文化財保持者(人間国宝)の漆芸家 大西勲、日本藝術院賞受賞の書家 浅香秋心をはじめ、郷土にゆかりのある作家の作品を所蔵・展示するほか、多彩な企画展を開催している。☎0296-23-1601(月曜、年末・年始休館)



**板谷波山記念館** 東京にあった窯を復元、波山の生家・庭園と共に一般公開している。数々の作品を積み上げた三方穴口飯袋丸窯は、1年余の月日をかけて築かれた。波山の作品・遺品などの展示室も併設されている。☎0296-25-3830(月曜、年末・年始休館)



**東生涯学習センター** 県西地域の生涯学習を推進する中心となる施設。市町村や関係機関等と連携し、学習情報の提供、学習機会提供及び学習活動の場の提供を行う。小・中・高校生及びその保護者を対象とした親子ふれあいの場としてのイベント実施や各種講座、講演会などが企画実施され、地域住民の憩いの場としても好評。☎0296-24-1151



**筑西市立中央図書館** 平成10年開館。筑波山を望み、勤行川のほとりに建ち、郷土の職工とびばし施設を誇る図書館。パソコン利用専用席、休憩コーナー等を設け、車椅子の者が利用しやすい高さに作られた書架、入り口のスロープなどを多く取り入れ、障害者や高齢者が利用しやすい施設となっている。☎0296-24-3530



**明野公民館(イル・プリランテ)** 公民館前の広場では、明野新能などのイベントが開催され、地域住民の交流の場となっている。☎0296-52-5333

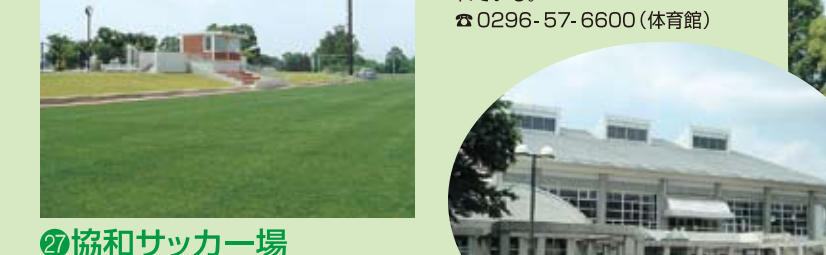
# スポーツ・レジャー体験



**下館総合体育館** 1,500人収容可能な観客席を備えた2,000㎡のメインアリーナをはじめ、サザアリーナ、トレーニングルーム、幼児室がある。屋根は東京ドームと同じテフロン層構造で、昼間は太陽光を採り入れ省エネ化を図っている。規模と内容は県内でもトップクラス。☎0296-28-5040



**関城総合運動場** 旧関城跡ケケにある運動場。体育館やキャンプ場も併設されており、地域のスポーツの拠点となっている。☎0296-37-6049(体育館)



**協和サッカー場** 夜間設備も備えられた本格的なサッカー場。芝生広場や多目的グラウンドも併設され、誰でも気軽に利用できる施設となっている。☎0296-57-7621(体育館)



**あけの元気館** 地下1,500mから湧き出す天然温泉を利用した浴室・露天風呂「精明の湯」、多様な機能を備える温水プール、スポーツジムなど。心と体のリフレッシュスポットを市の利用者にも、公の施設ならではのスペシャル料金で提供している。☎0296-52-7111



**あけの元気館** 地下1,500mから湧き出す天然温泉を利用した浴室・露天風呂「精明の湯」、多様な機能を備える温水プール、スポーツジムなど。心と体のリフレッシュスポットを市の利用者にも、公の施設ならではのスペシャル料金で提供している。☎0296-52-7111



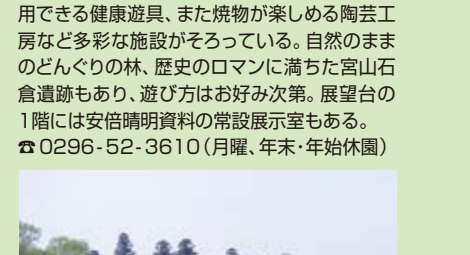
**東西総合公園** 赤松林、落葉・紅葉樹林の自然を堪能し、雄大な筑波山の眺めを我がものとする広大な公園。旧下館・協和・明野の3市町に渡る広域公園(55.7ha)。☎0296-57-5631(第一水曜休園)



**里山「丸山」** NPO法人里山を守る会が林の下草刈をして里山の保全に協力し、自然の状態で子供達が遊べる場所を提供している。



**協和の杜公園** 旧協和町久地地区に立地する公園。茨城県ふるさと公園の保全に協力し、自然の状態で子供達が遊べる場所を提供している。☎0296-57-6600(体育館)



**宮山ふるさとふれあい公園** 豊かな自然を思いやり楽しむアウトドアスポーツの施設。バーベキュー設備をはじめ、キャンプ場、水遊びのジャブジャブ池、散歩しながら利用できる健康遊具、また焼物が楽しめる陶芸工房など多彩な施設がそろっている。自然のままとしんせりの林、歴史のロマンに満ちた登山石倉遺跡もあり、遊び方はお好み次第。展望台の1階には安曇野市立資料館常設展示室もある。☎0296-52-3610(月曜、年末・年始休園)



**あけの元気館** 地下1,500mから湧き出す天然温泉を利用した浴室・露天風呂「精明の湯」、多様な機能を備える温水プール、スポーツジムなど。心と体のリフレッシュスポットを市の利用者にも、公の施設ならではのスペシャル料金で提供している。☎0296-52-7111

## 花と名所をめぐる



**下館音頭歌碑** 詩人 西条八十は、昭和19年から8年間下館に疎開していた。戦時中、高知の青少年に明るさと希望をもたらす歌を詠み続けた彼は、中山重平の未発表の曲を使った「下館音頭」を完成。歌碑を刻んだ碑が高台から市街地を見守っている。

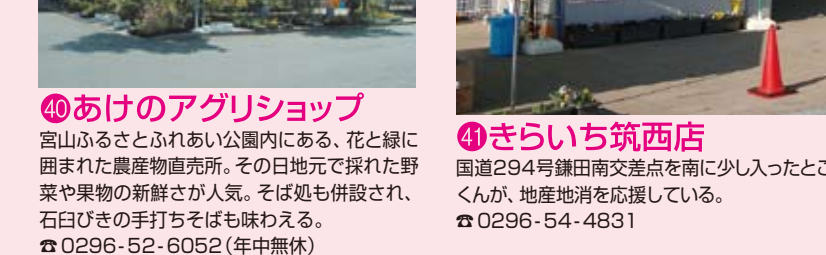


**黒子駅の桜** 4月になると多くの写真家が訪れる常盤線黒子駅。のどかな風景と、どこか懐かしい駅舎が、桜の見事さと相まって人々に愛されている。

## 筑西の味覚に出逢う



**アグリショップ夢せききょう** 関城跡東側の前に位置し、季節には地元産の野菜は勿論、一年を通して新鮮な野菜などが販売されている。☎0296-37-1020

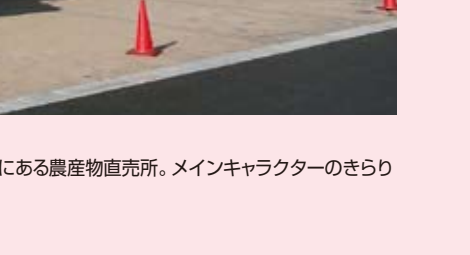


**あけのアグリショップ** 宮山ふるさとふれあい公園内にある、花と緑に囲まれた農産物売所。その日地元で採れた野菜や果物の新鮮さが人気。そば処も併設され、石臼ひきの手打ちそばも味わえる。☎0296-52-6052(年中無休)

## 筑西の味覚に出逢う



**アグリショップ夢せききょう** 関城跡東側の前に位置し、季節には地元産の野菜は勿論、一年を通して新鮮な野菜などが販売されている。☎0296-37-1020



**きらいち筑西店** 国道294号鎌田南交差点を南に少し行ったところにある農産物直売所。メインキャラクターのきらいくんが、地域地産品を応援している。☎0296-54-4831



## ●市内宿泊施設一覧●

旅館名	所在地	電話番号
割烹ホテル魚正	筑西市横島273-5	0296-22-4585
釜儀旅館	筑西市海老ヶ島1599-1	0296-52-0051
旅館三水	筑西市伊佐山155-2	0296-28-0927
ホテル新東	筑西市乙834	0296-24-3351
ホテルニューつたや	筑西市乙907-1	0296-24-8181
平成ホテル	筑西市伊佐山160-8	0296-28-6444
ビジネス旅館あらい	筑西市中館149	0296-22-3861
旅館三柵屋	筑西市甲851	0296-22-3073
ホテルルートイン下館	筑西市西谷貝360-1	0296-23-1611

## ●交通のご案内●



- 電車 JR水戸線・水戸駅より約1時間10分  
 関東鉄道常総線・取手駅より約1時間20分
- 乗用車 常磐自動車道・谷和原インターから国道294号で約1時間  
 北関東自動車道・桜川筑西インターから国道50号で約20分  
 北関東自動車道・真岡インターから国道294号で約30分



●このパンフレットに関するお問い合わせは

## 筑西市役所・商工観光課

〒308-0031 茨城県筑西市丙360 筑西市役所 スピカ分庁舎4F  
 TEL/0296-20-1160 FAX/0296-20-1186  
 筑西市HP <http://www.city.chikusei.lg.jp>  
 観光協会HP <http://www.chikuseikanko.jp>



筑西市HP



観光協会HP